

豊明市立栄中学校校歌

おおらかに ♩=104

作詞 磯村知芳

作曲 富田正二

mf

1. みなみにはるか そらはすーみ
3. れきしはとうし おけはざーま

mf

めいしのみちをしーこーにみて
びさんのさかいこーのーさとに

mp *mf*

まつのみどりもいろはえる さかえのおかに きはなごみ
あかつきつける おたけびはわれらがあつき うたのこえ

アーきはなごみ

アーうたのこえ

mf *cresc.*

まことのこころひとすじにすす
りそうのほのおむねーにひめはば

f

まんさかーえ 中学校
たけさかーえ 中学校

- 一、南に遙か空は澄み
名四の道を指呼にみて
松の緑も色映える
栄の丘に気は和み
誠の心一すじに
進まん栄中学校
- 二、名も麗しき豊明の
隆昌を荷う若人が
紅き血潮は学舎の
窓彩らんこの朝
希望の光面に受け
輝け栄中学校
- 三、歴史は遠し桶狭間
尾三の界この郷に
晩告げる雄たけびは
我らが熱き歌の声
理想の炎胸に秘め
羽ばたけ栄中学校
- 四、仰ぐ甍は大蔵の
深き水面のその影に
見よとこしえの史の跡
歩みも高し殿山に
貫く至誠ゆるぎなく
聳えん栄中学校